

hot lunch at junior high school

「中学校給食を考えるシンポジウム」

できたとでも
みんなが
食べたーい!



10月10日〔月・祝〕 13時～15時（開場12時半） 横浜情報文化センター

YouTube
配信もあります



誰でも
ご参加いただけます
親子スペース
あり!

横浜市の中学校給食は

“できたてをみんなで食べられるものに” シンポジウム

いま横浜市の中学校給食は、市が委託した業者が調理し学校に届けるデリバリー(配達)式で家庭弁当との選択制で提供しています。契約4業者の調理能力は最大全生徒の4割となっており、生徒みんなが食べることができません。横浜市は2026年度から、デリバリー給食の利用を原則にしています。

当日スケジュール

13:00 議会からの報告

こうすればできる自校・親子学校調理方式

報告／白井 まさ子 日本共産党横浜市議団 副団長



13:15 豊かな中学校給食がもたらすもの

講演 「子どもの貧困と中学校給食」

講師／阿部 彩 子どもの貧困問題提言の第一人者

東京都立大学人文社会学部教授 子ども・若者貧困研究センター長

※講師はオンラインでの参加です



13:55 スピーチ／いいねの会・学校給食よくする会・新婦人(各団体5分)

新日本婦人の会 横浜18支部代表 三山 弘美さん

横浜学校給食をよくする会 代表委員 久保 喜久二さん 他

ホールから発言

15:00 終了

司会進行／北谷 まり 日本共産党横浜市議員

2022年

10月10日 [月・祝]

13:00～15:00 (開場12時半)

横浜情報文化センター
(6F)



YouTube 配信も
あります



●親子スペース完備!
お子様とお越しく下さい

主催：日本共産党横浜市議団

〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町6-50-10(市役所内) TEL:045-671-3032

検討されている横浜市の 中学校給食の今後

中期4か年計画素案

「すべての生徒が満足できる中学校給食の実施」

目標は

「デリバリー弁当方式で全員に供給できる体制の確保が完了」

▶中期4か年計画素案の詳細は市ホームページをご覧ください。

素案はこちら



日本共産党横浜市議団はこう考えています

私たちは、宝塚市や高崎市など全国でも優れた中学校給食を実施している自治体を視察し、食育やアレルギー対応、地産地消、防災などの視点から、自校、又は親子という学校で調理する給食が横浜の給食として最もふさわしいと考えています。最大4割の生徒しか食べられない現在の横浜市の中学校給食を、「全員実施」に転換することは歓迎です。しかし、実施方法の「デリバリー方式」は、再検討が必要だと考えています。デリバリー方式ではアレルギー対応が困難です。また、配達に時間を要するため、食中毒対策として、おかずを冷たくせざるを得ません。

市教育委員会は2026年度に全校一斉にスタートするには、デリバリー方式しかないとしています。しかし、一斉スタートにこだわらなければ、全校のうちの半数の72校が可能とされている「学校調理方式」を主流にセンター方式と組み合わせる「ミックス方式」も考えられます。経費は市教委の試算では、30年で見れば、デリバリー方式と大差はありません。デリバリー方式を実践していた他都市では、学校調理方式やセンター調理方式に次々と切り替えています。多くの市民のみなさんと、何が横浜の中学校給食としてベストなものなのか、考え合いたいと思います。

横浜市政新聞

2022年9月号外 発行：日本共産党横浜市議員団

横浜市中区本町6-50-10 市役所内 メール：info@jcp-yokohama.com TEL:045(671)3032 FAX:045(641)7100

キリトリ

FAX送信 045-641-7100 日本共産党横浜市議団議員室行

横浜の中学校給食への意見・アイデアを寄せてください

よろしければご記入ください。

お名前

住所・連絡先

メールアドレス

個人情報の取扱いについては無断転用いたしません。

メールはこちら pc@jcp-yokohama.com

